

東洋学園

東洋学園の校友をつなぐ

だより

平成25年 Vol.2

CONTENTS

- 活躍めざましいクラブ&サークル …… 1
- キャンパス再編のお知らせ …… 2,3
- 国際キャリアプログラム (ICP)のご紹介 …… 3
- ホームカミングデー紙上レポート …… 4
- 連載：東洋学園の歴史 …… 4,5
- 活躍中の卒業生 …… 5
- 大学院のお知らせ …… 6
- 入試情報 …… 6,7
- 東洋学園大学教育振興資金協力のお祝い …… 7
- Information …… 8

活躍めざましいクラブ&サークル

東洋学園大学のクラブ・サークル活動は体育会系、文化系それぞれが日々切磋琢磨して頑張っています

硬式野球部

東京新大学野球リーグ2部に昇格



創部3年目にして2部への昇格を果たしました

東京新大学野球連盟の3部で奮闘していた硬式野球部が、このたび2部昇格を果たしました。東京新大学野球連盟には東京理科大や東京外語大なども所属、1部には創価大学や流通経済大学といった野球の強豪校も居並ぶ4部制のリーグです。本学は加盟以降、順調にレベルを上げて戦ってきました。

2013年の春季リーグを10試合9勝1敗の好成績で3部優勝。2部への入れ替え戦で工学院大学に見事勝利し、秋季からは2部の大舞台で闘うことになりました。今後はさらに厳しい試合が待ち受けていますが、目指すはもちろん優勝、そして1部昇格です。

創部3年目の新進チーム

野球部は2011年創部のまだ新しいチームです。東京新大学野球連盟への加盟も2012年のことで、加盟翌年である今年、早くも目標としていた「3部優勝、2部昇格」の快挙を成し遂げました。現在部員数は31名、マネージャー4名。本学准教授の澁谷智久部長を筆頭に、専任講師の光川眞壽監督ら総勢5名のスタッフに支えられて活動しています。

活動の様子は公式サイトでもご覧いただけますので、応援よろしく願いいたします。http://tgblog.tyg.jp/g-dantai/tygbbc/

テニス部

躍進！ 東洋学園大学テニス部

テニス部は、男子27名、女子17名で活動中。それぞれ週5回、千葉県・流山キャンパスで練習に励んでいます。

部としての実力は年々上がっており、昨年の男子は関東学生テニスリーグ4部優勝&3部昇格、女子は3部優勝&2部昇格と、うれしいダブル昇格を果たしました。その昇格を受け、9月からは男子は3部リーグ、女子は2部リーグで競合校相手に奮闘中です。



昇格を果たし、3部で奮闘する男子テニス部

速報！ 関東大学テニスリーグ結果

9月21日(土)・22日(日)に開催された関東大学テニスリーグでは、男子テニス部は3部6位でしたが、入替戦で順天堂大学と対戦し、ダブルス2対1、シングルス3対3の計5対4で勝利し、3部残留を決めました。女子テニス部は2部で優勝。その後、1部・2部入替戦で惜しくも筑波大学に敗れ、1部昇格の夢は来年に持ち越しました。

これからも、個人・チームともに切磋琢磨しながらますます成長していくテニス部の、応援をよろしくお願いいたします。



インカレ出場選手も出し、躍進を続ける女子テニス部

吹奏楽団

千葉県吹奏楽コンクールで入賞

3年前から活動を始め、昨年、千葉県の吹奏楽連盟に加盟した東洋学園大学吹奏楽団。今年7月21日に行われた千葉県吹奏楽コンクールでは昨年に続き銀賞を受賞。コンクールや学内イベントのほか、流山市のイベントに出演するなど、学外にも活動の幅を広げています。



部員18名、楽しく練習しています

東洋学園大学では、上記のクラブの他にもダンス、ゴスペルなど、約40の団体が元気に活動しています。

キャンパス再編のお知らせ

2014年度より就学キャンパスを再編 学部ごとに4年間同じキャンパスで学びます

学部・学科の特色に応じた配置でさらなる飛躍を目指します

2014年度の入学生から 学部別にキャンパスを再編

東洋学園大学は、2014年度より東京・本郷キャンパスと千葉・流山キャンパスにおける3学部の配置を再編することになりました。

現在は3学部を通じて1・2年生が流山キャンパス、3・4年生が本郷キャンパスという配置で学んでいますが、これを学部別キャンパスに一新します。2014年度の入学生から、それぞれの学部・学科の専門性に並び、4年間を通してグローバル・コミュニケーション学部と現代経営学部は本郷キャンパスで、人間科学部は流山キャンパスで学びます。

歯科教育史上、女子では初の文部大臣指定校として1926年に旧制東洋女子歯科医学専門学校を創設し、以来、東洋女子短期大学、東洋学園大学と歴史を重ねてきた本学。本郷キャンパスは現在まで続く伝統のキャンパスです。一方、流山キャンパスは1967年に開設、多くの短大生がこの地で学び、1992年には共学の四年制大学として東洋学園大学人文学部を開学しました。以降、人間科学、現代経営学と学問ジャンルを広げ、学部・学科・コースの充実を図ってきました。

今回のキャンパス再編は学部の特色に合わせ、より効果的に学ぶことを目的としています。



本郷 ～文化・経済の中心で過ごす4年間～

本郷キャンパスは東京ドームの間近にあり、5路線3駅が利用可能な好立地を生かしてグローバル・コミュニケーション学部、現代経営学部の学生がこの地で4年間を通して学びます。

2013年度新設のグローバル・コミュニケーション学部は、国際関係や環境問題、ツーリズム等におけるフィールドワークや、情報メディアに関する実習など、多くの体験型学習を取り入れたカリ

キュラムが特長です。最新の情報が集まる国際都市・東京の中心で4年一貫して学ぶことにより、グローバル社会の中で情報を収集・発信するスキルを磨きます。

マーケティングに関するフィールドワークやケーススタディに力を入れている現代経営学部にとっても、研究材料が豊富に揃う都心で4年間学ぶこと自体が大きな強みとなります。東京ドームもその教材のひとつです。実在する企業の経営を分析、討議して、最終的に自分自身の答えをみつけるという学習スタイルを通じ、現代社会を生き抜

く力を身に付けます。

また、学部入学から5年後に修士の学位を取得できる「学部・修士5年一貫プログラム」を有する現代経営研究科（大学院）も本郷キャンパスに配置されており、より専門性と教養を高めていくことが期待されます。

流山 ～心を深く見つめて過ごす4年間～

流山キャンパスは秋葉原から20分、スクールバスで約5分の場所にあり、ゆとりある環境と利便性を両立しています。この地では人間科学部の学生が4年間学びます。

心理学を軸に、カウンセリングやスポーツ科学、子ども、社会などを学ぶ学生にとって、広大な敷地と充実した施設を備える流山キャンパスでじっくり学べることは大きな魅力です。また、近隣の保育施設での実習など、地域環境を生かした学びの機会も豊富です。

流山キャンパスの特長の一つとして、活発なクラブ活動が挙げられます。本紙1面でもご紹介した通り、創部わずか3年目で東京新大学野球連盟の2部に昇格した硬式野球部や、めざましい活躍を続けているテニス部、吹奏楽団やダンスサークルは、流山キャンパスを活動拠点としています。また学園祭などを通じて地域に根ざしたキャンパスとして親しまれています。



▲2学部が学ぶ東京・本郷キャンパス



▲人間科学部が学ぶ千葉・流山キャンパス

本郷 グローバル・コミュニケーション学部

国内外で多種多様なフィールドワーク

グローバル・コミュニケーション学部は短大から続く「英語の東洋」の伝統を受け継ぎつつ、国内外で多彩なフィールドワークを行っています。

夏休みを利用したアメリカの企業でのインターンシップでは、英語でのビジネスコミュニケーションを経験することができます。また、近年ではアメリカやイギリス、ヨーロッパはもちろん、ラオスやタイでエコツーリズムを学んだり、世界遺産を見学したりと、アジア圏の文化や歴史、社会も現地で学んでいます。日本国内でも白神山地でのフィールドワークや田植え体験などを行っています。

学生たちは世界各国の地域で実体験として「グローバル・コミュニケーション」を学んでおり、これからの世界に羽ばたく国際人を目指しています。



ラオスをはじめ、異文化の中に飛び込んで学んでいます

本郷 現代経営学部

近隣の東京ドームでケーススタディ

現代経営学部では毎年恒例となっている東京ドーム研究を今年も行っていきます。学生が実際に東京ドームシティのビジネスについての研究発表をしており、自発的に現地での取材をするなど、積極的に取り組んでいます。また、スマートフォンのような今時の“旬”な商品、ビジネスについてシミュレーション形式で学ぶ授業も人気です。スマートフォンの企画やビジネスプランのプレゼンという体験を経て、実際のビジネスシーンにもすぐ活かせるようなプレゼンテーションが授業内で行われています。

2014年度の入学生から現代経営学部は再び東京・本郷キャンパスで4年間を過ごすことになりました。これを機に今まで以上にケーススタディの機会を増やしていきたいと考えています。



近隣の東京ドームでビジネスシーンさながらの分析

流山 人間科学部

豊かな環境で人の「こころ」を学ぶ

心理学系のゼミでは、グループワークで心理検査やカウンセリングを実践したり、臨床心理士や児童福祉士として活躍している卒業生を講師に招くなど、卒業生のみなさんにも協力してもらい、カウンセリングやコミュニケーションのスキルを磨いています。

グラウンドやトレーニングルームといった豊富な施設を活用してスポーツ科学の勉強もしています。また、近隣の保育所で保育体験を行ったり、商店街のイベントでボランティアを行ったりと、地域とのかかわりの中で学ぶ授業もたくさんあります。来年度からは環境の良い千葉・流山キャンパスで4年間学ぶことになるので、学生たちがよりのびのびと地域との交流を強め、また、「こころ」の学びを深めていってくれることでしょう。



心理テストを受けるなど、実体験で学ぶ心理学系の授業

2014年度より、真の国際人を育成する国際キャリアプログラム (ICP) がスタート



国際社会で活躍できる人材を伝統の「英語の東洋」で育成

東洋学園大学は1992年の開学以来、全学部を通じて「英語教育」と「教養教育」を柱としてきました。東洋女子短期大学時代からの「英語の東洋」としての伝統が今なお息づいています。現在はネイティブスピーカーをはじめ英語教育を専門とする教授を多数擁するとともに、基礎学力を養うだけでなく、社会で必要とされるTOGAKU生の育成を目指した教養教育にも力を入れています。

2014年度からスタートするICP（国際キャリアプログラム）は「英語の東洋」をさらに深化、発展するものです。今後、グローバルに活躍できる人材がこれまで以上に必要とされる社会的なニーズに対して、本学の特長を活かし、発展させ、真の国際人を育成するのがこのICPなのです。



徹底した英語教育と1年間の海外留学が必須

ICPの最大の特徴は、徹底した英語教育と1年間の海外大学への学部留学です。2年次の後期から1年間、英語圏の大学への学部留学を必須としています。留学先となる海外の協定校は世界6カ国、20校以上。イギリス、アメリカをはじめ、オーストラリア、ニュージーランド、カナダ、アイルランドに協定校があります。現地の学生と共に専門科目を英語で学ぶ経験は貴重なものになるでしょう。

一方、本学での授業は1クラス10～15名の少人数クラスで、教員が一人ひとりと深いコミュニケーションをとれるチューター制を採用しています。また、「Content and Language Integrated Learning (CLIL)」を採用し、ほとんどの教養科目や専門科目を英語で学ぶ、まさに英語漬けの日々を送るプログラムとなっています。

卒業後の進路も幅広く展開

ICP受講者は積み重ねてきた英語力・国際教養力の集大成として、卒業論文を英語で作成します。卒業後は国際機関やグローバル企業への就職、NGO・NPOへの参加も今後いっそう増えていくと思われます。また英語圏の大学院等への進学も推奨し、「英語の東洋」の卒業生たちが、これまで以上に世界へ大きく羽ばたいていく一歩となるプログラムです。

国際キャリアプログラム (ICP) の6つのアプローチ

- 人間力の基礎を作る国際教養教育
- CLIL、ALPSなどICP独自の英語教育
- 1年間の海外学部留学（必修）で磨く確かな英語力
- 少人数教育によるきめ細かな指導
- 一人ひとりを親身にサポートするチューター制
- 希望の専門分野を学びながら履修できる学部横断プログラム



ホームカミングデー紙上レポート

大学開学20周年記念 東洋学園ホームカミングデー を開催しました

2012年11月17日（土）、大学開学20周年を記念したホームカミングデーを開催しました。

あいにくの空模様にも関わらず、約200名の校友にお集りいただきました。開学20周年記念行事、懇親会のほか、東洋女子短期大学、東洋学園大学それぞれの卒業生による記念講演も大変好評で、卒業生のお話を聞きたいと駆けつけた在學生も出るほど。日高佳先生、脇山怜先生による記念授業では、学生時代に戻り、真剣に講義を受けるみなさんの姿が見られました。

お友達と誘い合わせ、お子様とともに再会の場として楽しんでくださった方も多く、笑顔の絶えない一日となりました。

ご来場くださったみなさま、誠にありがとうございました。

今後も卒業生が集う場を通じ、東洋学園の絆を深めていきたいと考えております。次回開催が決まりましたら、東洋学園だより、メールマガジン等を通じご案内いたします。



大学開学20周年記念・東洋学園ホームカミングデー

開催日：2012年11月17日（土）11：00～16：00 場所：本郷キャンパス1号館他

1. 大学開学20周年記念行事 11：00～12：00

挨拶 学校法人東洋学園理事長 江澤雄一
東洋学園大学学長 一ノ渡尚道
祝辞 東洋女子短期大学同窓会 戸田直子会長
東洋学園大学同窓会 枳尾健会長
目録贈呈 短大・大学同窓会長
東洋学園大学校歌斉唱

2. 懇親会 12：00～13：30

太鼓演奏 吉岐坂太鼓
祝辞 元東洋女子短期大学学長 青野賢太郎先生
祝辞 元東洋学園大学学長 行方昭夫先生
報告 「学園の今」 東洋学園大学副学長 原田規俊子
記念演奏 東洋学園大学吹奏楽団

3. 記念講演 13：30～15：00

稲垣玲子様 「茶の湯に導かれて」 東洋女子短期大学22回生/専攻科1期生
鈴木勝様 「今こそコミュニケーションが重要な時代」 東洋学園大学2期生

4. 記念授業 15：00～16：00

日高佳先生 「フランス語の冠詞～冠詞は名詞の被る帽子」
元東洋女子短期大学英語英文科学科科長
脇山怜先生 「ポライトネスのレッスン～異文化コミュニケーションの視点から」
元東洋学園大学人文学部学部長

5. その他企画

グループ別交流会/イングリッシュラウンジ/東洋学園史料室見学ほか

ホームカミングデーアルバム 2012



東洋女子短期大学同窓会からは流山のグラウンドに記念樹、東洋学園大学同窓会からは寄付金をいただき、両同窓会へ江澤雄一理事長より感謝状が贈られました。戸田直子東洋女子短期大学同窓会会長（左）と枳尾健東洋学園大学同窓会会長（右）。



この日記念授業を担当して下さった脇山先生（左）、日高先生（右）。中央は一ノ渡尚道学長。



足元の悪い中、お祝いに駆けつけて下さった行方昭夫元東洋学園大学学長（左）、青野賢太郎元東洋女子短期大学学長（右）。両先生よりご祝辞をいただきました。



お昼からは会場を体育館に移し、懇親会とランチタイム。本郷大横丁通り商店街の吉岐坂太鼓の迫力ある演奏とともにスタートです。



懇親会は立食形式で行われました。



懇親会の締めくくりは東洋学園大学吹奏楽団による記念演奏です。来場者からは「最高でした!」との声も。ほかに硬式野球部の紹介や、沖縄県人会による獅子舞など、在學生たちが大いに盛り上げてくれました。

連載：東洋学園の歴史

第1回 校友会誌と大学広報

『東洋学園だより』の変遷

時代とともに言葉の意味は移ろいます。校友会とは何かという定まった定義はありません。

一般的に戦前の校友会は現代の学生会（学友会・自治会）にあたり、同窓会の機能を含む場合もありました。旧制高校などで自治を強く打ち出すケースもありましたが、一般的に女子校は学校の監督権が強い傾向が見られます。

日中戦争から太平洋戦争へと戦局が激しくなるに連れ、国による統制が強まり、校友会は全国一斉に学校報国会へ（1941年）、末期は報国隊に改組されて戦争遂行に協力する団体とされました。（写真①、②）

終戦によって学校報国隊は解散となり、民主的な学生自治が再建される一方、卒業生は同窓会によって組織されました。こうした傾向に沿い、本学でも戦後は

各校の卒業生が自主的にそれぞれの同窓会を組織します。

- ・東洋紫苑会（旧制東洋女子歯科医学専門学校）
- ・ならしの会（旧制東洋高等学校）
- ・東洋女子短期大学同窓会
- ・東洋学園大学同窓会

他大学では「校友会」の名称や伝統的固有名詞を継承しているケースもありますが、実態は学生自治組織、同窓会、その両方とまちまちです。いずれにせよ自主的な運営を尊重する方針から、大学と同窓会の間には一定の距離感があったように思います。

（写真③、④）

少子高齢化社会の現代では国公私立を問わず卒業生のマンパワーが学校運営に不可欠となり、大学が卒



①戦前の校友会誌『東洋女歯校友』。学術（紀要）、文芸投稿誌、対外広報、学内報、同窓会報、名簿など、ありとあらゆる性格を併せ持ち、各号80～140ページ前後、1927年4月から1943年12月まで年2～3回、計39回発行されました。
表紙は校舎全景が定番ですが、特集号は独自の意匠でした。これは1938年1月発行「時局特集号」で、前年に勃発した日華事変（日中戦争）を踏まえています。撮影位置は現在の本郷1号館モザイク壁画の下。

活躍中の卒業生

社会で輝く卒業生



旧制東洋女子歯科医学専門学校
大庭幸子さん

院長職を次世代に譲り、今は学会と奉仕活動に活躍する大庭さん。昨年9月の第43回PFA（ピエールフォシャルアカデミー）国際歯学会日本部会大会では大会長の重責を務め、国際奉仕団体Zonta Internationalでも北海道・東北地区（前）会長として国際大会に飛び回っています。戦後、海外渡航が制限されていた時代に海外留学し、その後も長く国境を越えた活動をしてきた大庭さんは、東洋学園の後輩に「若い人は世界に出れば必ず伸びます。人と人の絆の中で友を見つけ、自分を信じて学問し、体力をつけ、世界に発信する人になって下さい」と願っています。

大庭(旧姓:木津) 幸子(おおば・さちこ)
1946(昭和21)年旧制東洋女子歯科医学専門学校卒業。ドイツのリービッヒ大学(現 ギーゼン大学)留学を経て岡山大学医学部で学位(医学博士)を取得。札幌市中央区の大庭歯科医院で院長を務めた。



東洋学園大学
富塚比咲子さん

卒業旅行でケニアを訪れて以来、「アフリカと日本をつなぐ仕事」を志したという富塚さん。2006年からは日本ケニア交友会でケニア産紅茶の貿易や、小学校への寄付などの活動を行なっています。学生時代にはゼミの有志と企画してバングラディッシュへ。井戸掘りのボランティア体験は、「世界へ出て何かをしたい」という思いを強くしたといいます。「自ら発信し、行動しなさい」という教授の教えで、自らケニア大使館に手紙を書き、自分自身の手で夢をつかんだ富塚さんは、現在も充実の日々を送っています。

富塚比咲子(とみづか・ひさこ)
1996(平成8)年東洋学園大学人文学部英米言語学科卒業。大学の第1回生。卒業後は「アフリカと日本をつなぐ仕事」を志し、一般企業や、ケニア大使館を経て2006年より日本ケニア交友会勤務。現在はケニアのナイロビと日本を行き来しながら活動中。



東洋女子短期大学
清水直子さん

清水直子(しみず・なおこ)
1988(昭和63)年東洋女子短期大学欧米文化学科卒業。卒業後は宝通商株式会社営業部に貿易事務を担当し、その後歯ブラシメーカーのファイン株式会社に入社。版権業務から経理、営業まで幅広く担当し、1994年には取締役役に就任。その後副社長を経て、2010年代表取締役社長就任。

小学生のころから英語が大好きだった清水さん。短大入学後も熱心に授業に取り組み、2年次には先生の推薦を受けE.S.S主催のスピーチコンテストにも出場されました。卒業後入社した貿易会社ではタイプライターの腕前と持ち前の向上心で即座に頼られる人材に。その後ご実家の家業である歯ブラシメーカーのファイン(株)に入社され、先代の社長であるお母様と会社のために力を尽くしてこられたそうです。何事にも前向きに、そして人とのご縁、感謝の想いを大切にする姿は、雑誌やテレビ等でも多く紹介されています。



東洋学園大学
高橋宏昌さん

高橋宏昌(たかはし・ひろまさ)
2001(平成13)年東洋学園大学人文学部英米言語学科卒業。卒業後に神奈川県衛生学園専門学校東洋医療総合学科へ進学し、鍼灸師の資格を取得した。その後、鍼灸院勤務を経て、現在は横浜DeNAベイスターズでスポーツトレーナーとして選手のケアにあたっている。

スポーツに打ち込んだ学生時代を過ごした高橋さんが、スポーツトレーナーを目指しはじめたのは大学1年の頃。テレビで鍼灸師が選手のケアを行なっている姿を見たことがきっかけだそうです。卒業後はスポーツマッサージの治療院を経て、現在はプロ野球の横浜DeNAベイスターズのトレーナーとして活躍されています。いつかは海外で勉強しながらトレーナー活動を行いたいという高橋さん。大学で英語を学んだことが、そのために大切だったと感じているそうです。

業生へ積極的に働きかける機会が増えました。そのため組織として校友会の名称を用いる傾向が見られます。東洋学園でも校友会の設立を将来目標として、各同窓会と母校を、また各同窓会の間をとり結ぶ事務

方としての校友会事務局が設けられ、2012年から始まりました。全てを兼ねた校友会誌による戦前、大学広報と同窓会報が分離した戦後、戦前とは違ったスタンスで大学

が卒業生との関わりを再び深めつつある今日。再び校友会の名を冠するのなら、本紙のタイトルは『東洋学園校友だより』がよりふさわしいかもしれません。(東洋学園史料室)



②「校内録事」によって直近4ヶ月から半年間のできごとを知ることができます。卒業生の近況報告もあり、号によっては卒業生(の開業した歯科医院)訪問企画もありました。写真は第11号(1931年7月)校内録事。ディーク博士は独ベルリン大学現職の歯学部部長W.Dieckで前年9月に来日、旧制東京高等歯科医学学校(現在の東京医科歯科大学)で講師を務めました。島峰博士は島峰徹同校長。



③1957年から2008年まで発行された「学園だより」。年1回の発行で写真は1958年の第2号。戦後は卒業生への通信を同窓会が担い、学校の「学園だより」は対外広報兼学内報として発行していました。副題の「東洋女子短期大学新聞」がメインだった時期もあります。学生は独自に学生新聞を発行していました。



④1992年の四年制大学開学を機に「東洋学園だより」へ改題しました。最終号となった2008年発行の第50号1面。この頃には情報伝達手段が加速度的に多様化し、年に1回、紙媒体、という形式は時代に合わなくなっていました。近年の広報ツールは対象やニーズに合わせて細分化、速報化していく傾向がありますが、ウェブも含め改廃が激しく、一言でまとめるのは不可能です。

大学院で学びませんか

東洋学園大学大学院 現代経営研究科 現代経営専攻修士課程

本研究科の特色



本郷で学ぶ

キャンパスは5路線が交差する好アクセスの文教地区・本郷。平日の午後6時以降、土曜日など働く学生・社会人を応援するフレキシブルな開講。



生きた経営を学ぶ

東京の中心にキャンパスがあるという立地を生かし、ケーススタディに重きを置いた授業と、現役で活躍している最前線の経営者に学ぶ実践力。



最短5年で修士を取得

学部と大学院が連携し、学部入学から4年で学士、5年で修士の学位取得が可能となる「学部・修士5年一貫プログラム」で向学心のある学生を応援。

現代経営研究科について

本研究科の特色は、第一にビジネス街にアクセスが容易な本郷の地にキャンパスが位置していることです。第二に、仕事を持っている学生も、フレキシブルな時間割により働きながら学べる対応が取られていることです。そして第三に、現役ビジネスマンも教壇に立つなど、生きた現代経営を学べることです。こんな環境で、経営学修士号に挑戦してみませんか。



東洋学園大学大学院 現代経営研究科 研究科長 鎌田信男

修了後の主な就職先の例

アディダスジャパン株式会社、みずほ証券株式会社、富士フィルム株式会社、藍澤証券株式会社、その他の民間企業やNPO法人などで活躍しています。

週末大学院経営セミナー

<開催スケジュール> ▼聴講無料、予約不要ですので、ふるってご参加ください。
お問い合わせ：東洋学園大学総務部 TEL：03-3811-1696

大学院は社会に開かれた高等教育の場をめざし、経営学に関連する身近なテーマを、本学教員がわかりやすく解説する「週末大学院経営セミナー ～キャリア形成に向けて」をシリーズで開催しています。東洋女子短期大学、東洋学園大学卒業生のご参加をお待ちしています。

2013年 7月13日 (土)	現代経営科長 教授 鎌田信男 演題：「円とドルの力関係を読む」	11月2日 (土)	現代経営研究科 教授 鍋田英彦 演題：「コンサルタント・シンクタンク研究員の道をめざすには？ -その要件とキャリア形成-」
9月8日 (日)	現代経営研究科 教授 横山和子 演題：「今、なぜグローバル人材なのか？ -現代社会の変化に対応できるキャリア形成」	12月7日 (土)	現代経営研究科 教授 大村恵子 演題：「社会人のための英語の効果的学習法」
10月6日 (日)	現代経営研究科 教授 石川勝 演題：「90分でわかる企業業績の見方 -なぜ株式投資か？-」	2014年 2月15日 (土)	現代経営研究科 教授 井原久光 演題：「マーケティングと広告の仕事」

現代経営研究会

<開催スケジュール> ※全6回。講演は18:00～19:30(第6回のみ16:15～17:45)で聴講無料。講演会の後、懇親会(年間会員無料、当日参加お一人様あたり500円)を予定しています。

企業の皆様と本学教員との相互研鑽、交流を通じ、現代の経営諸課題について研究し、生きた経営ノウハウを蓄積したいと考え、2008年に大学院創設と同時に「現代経営研究会」を発足致しました。本研究会は、無料でどなたでもご参加いただけます。詳細はHPをご覧ください。

2013年 9月25日 (水)	東京大学大学院経済学研究科教授 (前日本銀行副総裁) 西村清彦氏 演題：「日本経済の行方」	11月20日 (水)	(株)フジサンケイリビングサービス 現(株)ディノス・セシール 元代表取締役社長・会長 石川博康氏 演題：「通販ビジネスの経営を顧みて(仮題)」
10月16日 (水)	ヤフー株式会社取締役社長 宮坂学氏 演題：「ITビジネスとヤフーの経営戦略」	12月11日 (水)	東レ経営研究所特別顧問 佐々木常夫氏 演題：「これからの時代の経営とリーダーシップ」
11月6日 (水)	日産自動車株式会社 常務執行役員 川口均氏 演題：「市場の変容と新時代の人材戦略 日産自動車」	2014年 1月15日 (水)	キッコーマン株式会社 取締役名誉会長 茂木友三郎氏 演題：「グローバル経営の留意点」



入試情報

東洋学園は校友のみなさまにとってずっと「学び舎」でありつづけていただいています。開学以来、東洋女子短期大学から東洋学園大学への編入や大学から

東洋学園大学入学金免除制度のお知らせ

在学生、卒業生の親族大歓迎!!
入学金が免除になります!

対象 本学在学生の兄弟姉妹及び東洋学園(旧制東洋女子歯科医学専門学校、旧制東洋高校、東洋女子短期大学、東洋学園大学)卒業生の子、孫、配偶者または兄弟姉妹等(二親等以内)
※人数の制限はありません

免除額 入学金300,000円

出願時に申し込み 出願書類とともに右記の**※必要書類**が必要となります。
入学試験要項については入試フリーダイヤルまでご請求ください。

在学生及び本学園卒業生のご親族(二親等以内)が本学に入学される場合、入学金を免除する制度を設けております

※必要書類

- (1) 入学金免除申請書(本学所定用紙)
- (2) 本学園を卒業したことを証明する書類(卒業証明書・卒業証書の写しなど)
- (3) 入学者と本学在学生・本学園卒業生との親族関係が確認できる書類、健康保険証の写し、あるいは住民票(世帯主との続柄が記載されたもの)

東洋学園大学教育振興資金協力をお願い

東洋学園大学教育振興資金協力をお願い

東洋学園（旧制東洋女子歯科医学専門学校、旧制東洋高校、東洋女子短期大学、東洋学園大学）は、創立より87年の歴史を持ち、本学の目標である①時代の変化に応える大学、②国際人を育てる大学、③面倒見のよい大学、を目指し、その実現の為に教育環境の整備・充実に日々努めております。

現代社会は大きな変革期にあり、少子高齢化、情報化、国際化が急速に進む中で、大学も思い切った改革が必要とされています。本学では、来年度より東洋学園の伝統ある英語教育を土台に、学部の科目を英語で学ぶCLIL（Content and Language Integrated Learning）や在学中の海外留学の義務づけなど、先進的な教育方法を取り入れた「国際キャリアプログラム（ICP）」を立ち上げます。

また、今まで学年別に分かれていたキャンパスを再編して、グローバル・コミュニケーション学部と現代経営学部は本郷で、人間科学部は流山で、それぞれ4年間学ぶ体制に改め、それぞれのキャンパスの特性を活かした教

育に取り組みます。更に流山キャンパスでは、今後の社会的ニーズを踏まえ、人間科学部に教育系の分野を対象とした新学科を構想中です。

本学はこのように時代の要請に応じて大きな改革に積極的に取り組んでいますが、今日の大学を取り巻く財務環境は大変厳しいものがあり、国からの助成も抑制される中で、更に充実した教育環境を学生の皆さんに提供するには、資金的な裏付けがぜひとも必要です。

今後、大学としての公共性と私立大学としての独自性を高めつつ、高等教育機関として社会に有為な人材を送り出していくためには、皆さまのご支援を仰がねばなりません。本学の教育方針にご賛同いただきまして、募金活動へのご協力を切にお願い申し上げます。

東洋学園 理事長 江澤 雄一

【募金目的】

- 1、本郷・流山キャンパス教育施設設備の充実
- 2、奨学金制度の充実
- 3、教育・学術等の研究奨励、振興
- 4、学生の課外活動の奨励
- 5、その他

【募金目標額】

2千万円

【募集期間】

平成25年10月～平成26年3月

【寄付金種別】

1口 1万円

金額の多寡に関わらずありがたくお受けします。
ご寄付いただいた方は次回の東洋学園だよりにお名前を掲載させていただきます。匿名をご希望の方は、校友会事務局にご連絡ください。

【募集対象】

卒業生及び本学関係者

【払い込み方法】

「金融機関での振込」と「クレジットカード振込」の2種類がご利用いただけます。「金融機関での振込」をご利用の方は、同封の所定振込用紙②（郵便局・銀行併用）でお手続きください。「ネットバンキング」もしくは「クレジットカード振込」をご利用の方は大変お手数ですが、同封の寄付申込書①をご返送ください。金融機関からの入金通知を受けた後、大学より領収書をご送付申し上げます。

【お問い合わせ先】

学校法人 東洋学園 校友会事務局
〒113-0033
東京都文京区本郷1-26-3
TEL 03-3811-1072

本学大学院に進学する校友もたくさんいます。また、卒業後に科目等履修生として授業を受ける方もいます。そして、この学びの場を身近な人にもぜひ広めていけたら母校はますます発展することでしょう。

編入学試験（3年次）

3年次からの編入学試験も実施しています。東洋女子短期大学の卒業生でご興味のある方は、入試室にご相談ください。

編入生のコメント



相沢 大介さん

（東洋学園大学
人文学部国際コミュニケーション学科4年）

英語を勉強したくて編入しました

自分の英語力に磨きをかけるために、専門学校から3年次編入しました。勉強以外にもダンスサークルに所属したり、被災地でのボランティア活動参加、そしてこの春には米国への短期留学も経験しました。今は好きな英語を生かした仕事に就けるよう頑張っています。

大学院入試

ご興味のある校友はまずは入試室にご相談ください。現代経営学部だけでなく、人文学部の卒業生も多数学んでおります。また、東洋女子短期大学の卒業生につきましては、出願資格等をお問い合わせください。

科目等履修生について

現在、在学中に未修得であった科目を履修するために通われている方がいます。もちろん、純粋に興味のある授業を学びたいという理由からでも大歓迎です。詳細はお問い合わせください。

お問い合わせ先

入試室 フリーダイヤル 0120-104-108

TEL 03-3811-0389 E-MAIL nyushi@of.tyg.jp

平日 9:00～17:00 土曜 9:00～13:00

Information

東洋学園大学同窓会からのお知らせ

～異動調査ご協力をお願い～

東洋学園大学同窓会からのお知らせです。すでに本会会員の皆様のお手元には本年度の会報、異動調査票(対象卒業期のみ)など一式が届いているものと存じます。異動調査につきましては、本会HP (<http://www.tgual.jp/>) から随時受け付けておりますので、本年度が対象となっていない皆様におかれましても、ぜひともご協力をお願いいたします。

いただきました会員情報につきましては、厳重な管理を行った上で、同窓会の主旨に基づき、本会の活動、学園、母校の発展、および在学生の後援のために活用させていただきます。

◆お問い合わせ先 東洋学園大学同窓会室(毎週木曜日)
【住所】〒270-0161 千葉県流山市鎌ヶ崎1660
【TEL】04-7150-3204
【HP】 <http://www.tgual.jp/>

東洋女子短期大学同窓会からのお知らせ

いつも会報の感想等をお寄せいただき、ありがとうございます。会報が届かないご友人をご紹介いただくこともあり、皆様との絆を日々感じながら活動しております。次回会報は2014年5月頃、紙面をリニューアルしてお届けします。どうぞ楽しみに。

～会員の皆様へお願い～

*現在、来年の会報に掲載する記事を募集しています。「クラス会を開きました」「卒業後こんな活動をしています」等、ぜひ皆様の声をお寄せください。

*町名や地番変更のため会報が届かない例が増えています。変更があった方はお手数ですが事務局までご連絡ください。

◆お問い合わせ先 東洋女子短期大学同窓会室(第1・3水曜日 10:00～15:00)
【住所】〒113-0033 東京都文京区本郷1-26-3 東洋学園大学内
【TEL/FAX】03-3811-5102 【E-Mail】 dosokai@ec.tyg.jp
【HP】 http://www.tyg.jp/tgu/juniorcollege_graduate/

学内施設利用について

図書館利用のご案内(本郷・流山)

卒業生も本学図書館を利用することができます。登録は無料。ご登録の際は卒業を証明するもの(学位記またはそのコピー、大学からの郵便物、卒業証明書等)をお持ちください。

【利用できるサービス】

閲覧、文献複写、貸出(図書のみ3冊まで、期間:2週間)
詳しくは図書館ホームページをご覧ください。<http://www.lib.tyg.jp/>

史料室のご案内(本郷)

東洋学園旧設置校に関する史料をご覧いただけます。本郷にお越しの際はぜひお立ち寄りください。

【場所】本郷キャンパス4号館6階

【開館日】月～金 9:30～16:30

詳しくは東洋学園史料室ホームページをご覧ください。
<http://www.tyg-archives.jp/>

トピックス



『リリー・Bの小さなつばき』

翻訳は鳥飼カオルさん。東洋女子短期大学英語英文科38年生です。

「自由」「自立」「自分の価値基準を持つ」というテーマを包摂しつつ、15歳の少女の思春期の悩みを明るくコミカルに描く『リリー・B』シリーズの第一作です。青春小説特有の「爽やかで甘い後味」(訳者)と、フランスの風土に由来する「作品全体の放つ空気感」(同)を損なわないよう、あえて意訳も試みしています。難しい年ごろのお子さまへ、またその年ごろのお子さまを持つ卒業生にお勧めしたい作品です。ご注文は書店またはウェブで。出版社のほか訳者による作品ウェブサイトもあります。

<http://www.lilyb-france.com/>
<https://www.facebook.com/lilybfrance>

『海防艦見島と

海軍11試機上作業練習機』

宮崎駿監督作品『風立ちぬ』主人公のモデル、堀越二郎の同僚で東洋学園に深いゆかりのある人物、三菱重工業航空機設計技師・榊原帯刀(さかきばらたてわき)についての小冊子(A4版10ページ)。その他、『東洋女子短期大学の誕生』(同36ページ)、『最後の旧制高校、東洋高等学校』(同58ページ)、最新の『習志野原の東洋学園』(同38ページ)など、ご見学の方に無料で配布。

『海防艦見島と海軍11試機上作業練習機』
東洋学園史料室 編



公開教養講座

(5月～12月開催、全7回) <http://www.tyg-koukai.jp/>

学内外の講師を招き、現代社会に焦点をあてたテーマで講演していただきます。

- 5月11日(土) 政治と国民のコミュニケーションは成り立つか
元内閣審議官 下村 健一
- 6月8日(土) 金融不安化時代のドルと円
東洋学園大学 教授 鎌田 信男
- 7月13日(土) 発展するASEANと日本
亜細亜大学 アジア研究所 教授 石川 幸一
- 9月14日(土) キング牧師の「夢」から50年
～アメリカの人種差別撤廃はすすんだか～
東洋学園大学 教授 宮井 勢都子
- 10月5日(土) 急変する国際一次エネルギー需給と中東産油国の対応
専修大学 教授 小島 直
- 11月9日(土) グローバル社会のなかでの英語教育
東洋学園大学 教授 大西 泰斗
- 12月14日(土) 自衛隊はどこへ向かうのか
東京新聞 論説委員 半田 滋

いずれも13:00～15:00 流山キャンパス 7301教室にて
各回1,000円。予約不要。直接会場にお越しください。

◆お問い合わせ先 東洋学園大学 総務部 流山キャンパス
【TEL】04-7150-3001

そのほか流山キャンパスでは、英語や中国語などの語学講座から、テニス、心理学など本学の特色を活かした講座、絵手紙や色を使ったイメージアップセミナーなど年間100講座を超えるエクステンションプログラムを開講しています。

来年度の講座詳細については、決定次第HPにてお知らせいたします。<http://www.tyg-ex.jp/>

各種証明書の発行等について

卒業した学校により、お取り扱いするキャンパスが異なります。

各種証明書の発行(卒業証明書、成績証明書、単位修得証明書など)

東洋女子短期大学	英語英文科	本郷キャンパス【TEL】03-3811-1696(代)
	欧米文化学科 英語コミュニケーション学科	流山キャンパス【TEL】04-7150-3001(代)
東洋学園大学	流山キャンパス	【TEL】04-7150-3001(代)
	本郷キャンパス	【TEL】03-3811-1696(代)

個人情報の変更手続き

旧制東洋女子歯科医学専門学校 旧制東洋高校	東洋学園史料室	【TEL】03-3811-2840
東洋女子短期大学	東洋女子短期大学 同窓会室 (開室日 毎月第1・3水曜日)	【TEL】03-3811-5102
東洋学園大学	東洋学園大学 同窓会室 (開室日 毎週木曜日)	【TEL】04-7150-3204
東洋学園大学大学院	本郷キャンパス	【TEL】03-3811-1696(代)

※詳しくは東洋学園大学公式ホームページ「お問い合わせ」をご参照ください。

校友会事務局より

『東洋学園だより』は、連絡先を登録されている約22,000名の旧制・短大・大学卒業生、元教職員、約2,000名の現役学生に届けられます。東洋学園にはこれだけ多くのゆかりある校友がいます。校友会事務局が発足して2年目、ぜひ皆様の声をお聞かせください。またメールマガジン(定期的)を配信しています。ホームページよりご登録ください。

☆お願い～企業で活躍している卒業生のみなさまへ～

就職活動中の学生によるOB・OG訪問を受け入れてくださる方を募集しています。業界や企業への理解、職業観等を伝えてくださる方、または、就職支援に積極的に関わっていただける方は校友会事務局までご連絡ください。

校友会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷1-26-3
東洋学園大学 本郷キャンパス1号館2階

TEL 03-3811-1072

E-MAIL koyukai-info@tyg.jp

ホームページ <http://tgblog.tyg.jp/koyukai/>